



**2025年08月26日（火曜日）～09月10日（水曜日）**  
**夏休み期間中の森林パトロールを実施**

当保全センターでは、例年登山者が多くなる夏休み期間中に森林パトロールを実施しています。今年度は、猛暑日が想定されたため、併せ熱中症対策を万全に行いながら、8月下旬から9月上旬までの約2週間実施しました。毎年、屋久島森林管理署と合同で実施していましたが、今年度は環境省屋久島事務所とも連携し2名の参加をいただきました。

パトロールコースは、宮之浦岳や太忠岳登山道をはじめとする6コースで、チーム編成を行い、8日間延べ28名により実施しました。

今年のパトロールも厳しい環境下で大変苦勞されたチームもあったようですが、怪我等も無く無事に終えることが出来ました。最終日のみ雨天のため中止となりましたが、全般的に台風や急な天候不良による中止などはありませんでした。

夏のパトロールは暑さとの戦いもありますが、一般利用者の方々と声を掛け合いながら、コミュニケーションをとることも重要な要素だと思います。また、はじめて参加する職員もおり、屋久島の森林の現況や登山者の状況把握など多くの知見を得ることができたパトロールになりました。

今後も地域の関係者と連携しながら、安全で楽しい登山となるよう呼びかけていくこととしています。



黒味岳から奥岳を望む（左）、鹿之沢小屋の様子（中）、有名なハート（ウィルソン株）（右）



ツクシゼリの花（左）、ヤクシマオニクワガタ（中）、ヤクシマリンドウも開花（右）

## 2025 年 08 月 08 日（金曜日）「屋久島の自然と環境を次の世代へ」～弥生杉周辺整備看板設置～

令和 6 年 8 月に倒れた弥生杉の取扱いについては、有識者及び関係機関等により開催した「弥生杉の今後の取扱いに係る検討会」において、その姿や倒伏後の植生の変化などを後世に伝える森林環境教育の場や観光資源として活用するため、そのままの状態で現地に保存する方針が決められました。具体的には、植生モニタリング調査や看板等の整備・設置などを進めることとされました。

そのまま現地に保存することで、自然の推移に委ねた状況下で植生など変化する状況を一般利用者の方が観ることができる場所となります。また、植生モニタリング調査等を継続的に行いながら地域の皆様と連携・協力し森林環境教育や観光地としての情報発信を進めたいと考えています。

当保全センターでは、屋久島の森林生態系の保全と利用へ貢献するため、現地の状況等を見つめながら地域と一体となった取組を進めていきたいと考えていますので、引き続きご協力をお願いします。



訪れる皆様と次の世代へ繋げましょう（次世代への看板）（左）（中）、倒れた直後の現地様子（右）

## 2025 年 08 月 04 日（月曜日）令和 7 年度 弥生杉防護柵内への侵入者を確認

倒伏した弥生杉は、そのままの状態での保存することとなり、植生モニタリング調査等を行いながら森林環境教育や観光資源の一つとして活用することとしており、次の世代へ繋げる重要な財産として、防護柵を設置し立入禁止区域としています。

しかしながら、防護柵内に侵入するルールを無視した登山者が今回初めて確認されました。侵入者は男性の登山者で昼間の時間帯に歩道脇の防護柵を乗り越えて侵入しているようです。倒れた弥生杉への被害は見当たりませんが、植生への影響も懸念されます。

倒伏した弥生杉は「屋久島の大切な宝」です。必ず木製デッキや歩道から観賞し防護柵内（立入禁止区域内）には入らないよう強くお願いします。

当保全センターでは、その対策としてカメラを設置しており、関係機関と連携・協力して、世界自然遺産屋久島の象徴である弥生杉への被害防止と周辺環境の保全対策に引き続き努めていきます。



ルールを無視した侵入者（左）、周辺の防護柵と注意標識（中）（右）

## 2025 年 08 月 03 日（日曜日）令和 7 年度 夏休み親子森林教室の開催について

8 月 3 日(日曜日)ヤクスギランドにおいて、島内の小学生と保護者を対象とした親子森林教室が開催されました。

この取組みは、屋久島レクリエーションの森保護管理協議会（以下、レク森協議会）が主催し、屋久島環境文化財団、環境省屋久島自然保護官事務所、そして屋久島森林管理署及び当保全センターの共催により、未来を担う子供たちが、屋久島の自然や歴史に親子で親しんでもらうことを目的に、毎年、夏休みのこの時期に開催されています。

当日は、快晴のもと 4 組 12 名のご家族が参加され、レク森協議会及び屋久島環境文化財団のインストラクターを講師として、いにしえの森 50 分コースを約 1 時間 30 分かけて、屋久島の森の歴史

や特徴的な植物及び地質などを幅広く解説頂きました。

コース内では、屋久島ならではの倒木更新や切り株更新の仕組みや、湿気の多い溪谷や森が苔にとって理想的な生息環境であり、島内に約 700 種もの種類が生息することなどが紹介されました。参加者は興味を持って説明に聞き入り、樹齢 2000 年近い仏陀杉には、その形や大きさに驚いていました。

森林教室の後には、レク森協議会から携帯トイレが無料配布され、テント型ブースを使った詳しい使用方法の説明と、施設内での汲み取り式トイレとの併用について協力をお願いしていることが紹介されました。

今回の森林教室は、林内の気温が 20 度前後と過ごしやすく穏やかな天気にも恵まれ、ご家族の元気な笑い声に包まれた森林教室となりました。皆さんにとって夏休みの良い思い出として刻まれることでしょう。



切り株更新の説明を聞く参加者（左）、携帯トイレの説明を聞く参加者（右）